

第 17 回「蕨の会」松代・上田（真田）散策レポート（1日目）

神宮 進（10 組）

真田氏の地を巡る旅は関西ツアー（2017 年）、沼田ツアー（18 年）、仙台ツアー（19 年）と続き、松代、上田（真田）を残すだけとなりましたが、コロナ禍の影響で延期を重ねに重ね、やっと 4 月 10 日、11 日に実現となりました。

天候不順の今年の春ですが、当日は絶好のお出かけ日和、桜の開花も遅れ気味で、硬い蕾、3 分咲き、満開と行く先々で様々でした。

松代と言えば中、高時代に群発地震があり、実家（川西）から見ると東の方向でぼーっと空が赤っぽくなり不気味でした。実際訪れると背に里山を控え北は広々とし、遠景に戸隠、アルプスなど雪に蔽われた山々が眺望でき素晴らしい地でした。

第 17 回を迎える今回の「蕨の会」参加者は幹事の成澤文和会長（4 組）を始め以下の 14 名です。関東からの常連は上原昇、小宮山豊、関賢治（2 組）、沓掛文夫、原田義則（3 組）、浅倉英樹、丸山暢久（4 組）、神宮（10 組）、岡田修、中山正光（11 組）。

真田町出身でこれまでも真田氏ツアーには参加している大阪在住の山岸敏夫（11 組）、そして今回は地元から小山田秀士、中村宣夫（7 組）が特別参加。（敬称略）

1 日目は宿泊先の信州松代温泉「松代荘」に全員集合、昼食後、まず 4 台のタクシー（2 台によるピストン）に分乗し象山記念館へ向かいました。

そこで 2 組に分かれ、地元のボランティアガイドさんの案内で城下町松代の名所旧跡の見学に出かけました。象山記念館の次は近隣の象山神社、続いて松代藩文武学校跡、松代城址（旧海津城）、真田邸（新御殿）、真田宝物館を訪れました。

城下町らしく整備された町並みをしっかり歩いた後、タクシーで 16 時過ぎに宿に帰館。小休憩後、宴会場にて懇親会と無理のないゆっくりとした行程で堪能できました。

宿泊先の「松代荘」は黄金の湯と謳っているだけあり、黄金色の天然温泉は宿泊者専用、日帰り入浴客用大浴場の 2 か所それぞれに露天と室内浴場の 4 つ、食事もおいしく満足でした。

また訪問先も平日とあって人出もそんなに多くなく桜はちらほら開花、天候は穏やかな観光日和に恵まれました。

幹事の成澤さんの用意周到でアレンジの良さも相まって素晴らしい一日となりました。

（2024 年 4 月 13 日記）

以下、写真 6 葉



【写真 1 : 松代城跡】



【写真 2 : 松代城跡の石垣】



【写真 3 : 城下町を散策する。左端は筆者】



【写真 4 : 真田宝物館前にて、左から中山、小山田、上原、岡田、原田、山岸、丸山、浅倉、神宮、沓掛、関、成澤、中村、小宮山】



【写真5：松代荘にて、左から神宮、丸山、浅倉、沓掛、原田、小山田、中村、成澤、岡田、中山、関、山岸、上原、小宮山】



【写真6：松代荘にて、左から時計回りに成澤、岡田、中山、関、山岸、上原、小宮山、神宮、丸山、浅倉、沓掛、原田、小山田、中村】

以上